

# 第1回 スポーツ環境会議 会議録

平成25年10月22日

9:30～11:00

本庁舎6階 第2委員会室

## 出席者

間野義之（学識経験者）、阿部正幸（区スポーツ推進委員協議会）、小菅知三（区レクリエーション協会）、松永健（区町会連合会）、太田原武（区高齢者クラブ連合会）、大塚フジエ（区青少年育成委員会）、矢崎礼子（区小学校PTA連合会）、遠藤通郎（区中学校PTA協議会）、菊池勇志（区内スポーツ関連事業者）、関口美緒（公募委員）

杉原純（新宿未来創造財団等担当部長）、西方祐子（障害者福祉課長）、齊藤正之（高齢者福祉課長）、大野哲男（子ども家庭課長）、皿田主査（健康推進課長代理）、吉川洋志（みどり公園課長）、吉村晴美（教育調整課長）、遠藤剛（生涯学習コミュニティ課長）

※欠席3名 今泉清隆（区体育協会）、徳堂泰作（区障害者団体連絡協議会）、藤原千里（公募委員）

## 事務局(生涯学習コミュニティ課)

林主査、松波主事、石塚主事

## 会議内容

### 1 開会

### 2 委嘱状の交付

### 3 生涯学習コミュニティ課長あいさつ

### 4 委員の自己紹介

### 5 座長の選出

新宿区スポーツ推進委員協議会の阿部正幸委員選出

阿部座長あいさつ。

### 6 「スポーツ環境会議」設置までの経緯

資料に基づき、事務局より説明を行った。

### 7 「新宿区スポーツ環境整備方針」について

資料に基づき、事務局より説明を行った。

## 8 意見交換（要旨）

### （1）新宿区のスポーツ環境について

- ・「身近な場所で運動やスポーツを行いたい場所がない」という意見が多く寄せられているが、限られた施設を有効に活用していくことで必要であり、今後「スポーツ環境会議」等を通じてより良い使い方や使わせ方を検討していく必要がある。
- ・身近な場所で気軽にスポーツを行うには、「ソーシャルサポーター」という、声を掛けてくれて参加を促す役割を担った人の存在が求められている。また、東日本大震災では、スポーツ団体の仲間や絆が復興に非常に力を出し、スポーツが持つ力の凄さが改めて証明された。
- ・公園や学校という身近な施設をどうやって効果的に活用するかが極めて重要であり、学校では教育を優先するけども、高齢者や障害者も含めた地域の方々にはできる限り積極的に開放していけるような環境づくりや規制緩和が重要である。

### （2）子どもの運動能力の低下について

- ・子ども達が学校以外で思い切り体を動かす場所が少なくなっており、子どもの体力を向上させる取り組みを実践していく必要がある。
- ・公園利用者の安全面に配慮しながらも子ども達がボール遊びを行える公園づくりについて、時間帯や場所等をどのように工夫していくかなど、多角的に検討を進めていく必要がある。

### （3）高齢者のスポーツについて

- ・高齢者には高齢者特有の体の特徴があるので、競技スポーツだけではなく身体活動全般を含む様々な取り組みを通して、健康・体力づくりを推進していく必要がある。
- ・様々な活動に参加したくても参加できない高齢者へのアウトリーチ（どう手を差し伸べたらご利用いただけるのか）が重要で、積極的な働き掛けを行っていく必要がある。

### （4）障害者のスポーツについて

- ・障害者スポーツの普及について、今はルールや道具や場所を工夫することで障害者と健常者が一緒にスポーツを楽しめる「アダプテッド・スポーツ」という志向が高まってきており、それが障害者の方達の社会参加につながっていくという視点で障害者スポーツを捉えるべき。
- ・障害者の方が活動場所まで来る移動介助や会場のトイレの問題等を整備していく必要がある。

## 9 その他

- ・特になし

## 10 閉会